

課題解決のためのコンセプトと再配置案(たたき台)

再配置案	WS案 A 現在の農改センターを最大限活用しながら、多世代交流を図る案	WS案 B 多目的ホールを有効活用しながら、利用に見合う多世代交流拠点をつくる案(建て替え)	WS案 B' 多目的ホールを有効活用しながら、利用に見合う多世代交流拠点をつくる案(大規模改修)	WS案 C 農改センターを新たに建て替え、多世代交流拠点をつくる案
施設配置図				
農改センター	◎現状の施設規模のまま存続	◎多目的ホールを残しながら、利用に見合う規模で建て替え	◎多目的ホールを残しながら、利用に見合う規模で大規模改修	◎地域の要望に配慮しながら、他の地域のコミュニティ系施設の規模に合わせて建て替え
整備方法	・現状の施設規模のまま大規模改修	・多目的ホール:大規模改修、その他:建て替え ・施設規模を現状の約 2/3 程度(※)に整備 ※【施設規模イメージ】貸室 2 部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各 1 部屋程度)と以下の機能を加えた整備	・大規模改修	・施設規模は半分以下程度(※)とし、現施設を取り壊し建て替え ※【施設規模イメージ】貸室 3~4 部屋程度(現在の農改センターの大研修室・小研修室各 1~2 部屋程度)と以下の機能を加えた整備
多目的ホール	・現状の施設規模のまま存続			・廃止(現施設の多目的ホールは取り壊すが、建て替え後、施設の部屋を繋げるなど、広いスペースとしての利用は可能)
バリアフリー	・全ての貸室を1階に集約、トイレの整備、段差解消など	・トイレの整備、段差解消などのほか、必要に応じエレベーターを設置		・バリアフリーに配慮して整備するほか、必要に応じエレベーターを設置
調理機能	・利用率の低い料理実習室は、多用途に使える貸室へ転用(非常時やイベント等の活用のため調理機能を一部存続)	・非常時やイベントなどで活用できるよう調理機能を整備		
図書室	・図書室を廃止 ・学習スペースの整備			
多世代交流	・親子や高齢者など、予約不要で誰もがくつろげるスペースの整備			
災害対策機能	・災害用倉庫の設置			
外構	・駐車場などの外構の整備			
連絡所	・存続			
コミ協事務室	・存続			
老人憩の家	○老人憩の家は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続(農改センターが整備されるまでは、風呂機能が廃止されても、部屋の貸出を継続) ・老人憩の家廃止後、農改センターなどを活用(農改センター:誰でもくつろげるスペースを整備、バリアフリーに配慮)			
ひまわりクラブ	○存続(現状の施設のほかに、小学校の特別教室などを開放し、できるだけ広いスペースを確保)			
小・中学校	○存続(学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、「新潟市小中学校の適正配置基本方針」に基づき、必要に応じて別途検討)			
農改センターの延床面積イメージ	 【整備後】 延床面積 1,836 m ²	 【整備後】 延床面積 約 1,100~1,300 m ² 建て替えを平屋にしたイメージ 1,300 m ²	 【整備後】 延床面積 約 1,300 m ²	 【整備後】 延床面積 約 660~860 m ² 平屋建てで建替えた場合のイメージ 860 m ²

課題解決の狙い	評価軸	WS案 A	WS案 B + WS案 B'	WS案 C
① 地域のまとまりや一体感を形成する	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士が交流できる居場所は確保しているか 誰もが気軽に利用できる施設になっているか バリアフリー施設となっているか 多世代が使えるスペースになっているか 身体を動かす広いスペースは確保されているか 大人数が集まれるスペースや施設は確保されているか 地域の拠点施設として活性化は見込めるか 	◎	○	△
		<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの貸室を1階に集約することで、昇降を不要にする 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターを、2階でEV設置または平屋にする 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターを複数階でEV設置または平屋にする
		<ul style="list-style-type: none"> 多目的ホールが、身体を動かすことや大人数が集まることができる広いスペースになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの部屋を繋げることで広いスペースを確保できるが、多目的ホールより狭い 	
		<ul style="list-style-type: none"> 現状の施設規模を最大限に活用することで、さまざまな地域活動を行うことが期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> 大人数で行う地域活動を実施できるが、現状の施設規模より活用の幅が狭まる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 大人数で行う地域活動などは、小中学校の体育館を利用する必要がある
		<ul style="list-style-type: none"> 農改センターに予約不要でだれでも使えるスペースを整備することで、住民同士の交流の活性化が期待される【共通】 農改センターに親子や高齢者の居場所機能、学習スペースを確保することで、幅広い年代で使い、多世代が交流できる施設として期待される【共通】 トイレの整備や段差解消など、バリアフリーに配慮して整備する【共通】 地域の課題解決を目的とした組織であるコミ協の事務室がある【共通】 		
② 子育ての環境、若者や高齢者の居場所をつくり、地域を活性化させる	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が使えるスペースになっているか 学生や親子が行きたいと思える場所となっているか 	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 農改センターに予約不要でだれでも使えるスペースを整備することで、住民同士の交流が活性化【共通】 農改センターに親子や高齢者の居場所機能、学習スペースを確保することで、幅広い年代で使い、多世代が交流できる施設として期待される【共通】 				
③ 過度な財政負担が将来世代に残らない	<ul style="list-style-type: none"> 施設運営コストは削減されるか 施設維持更新費用は削減されるか(改修・改築費) <small>※農改センター、老人憩の家、保育園、各集会所などの各施設を30年間そのままの規模で維持した場合のコストとの比較</small> <small>※施設運営コストは、平成29～31年度の3か年の平均値が30年間そのままかかるものとした試算値</small> <small>※施設維持更新費用は、修繕・改修・改築・解体を合計した試算値</small> <small>※外構部分は含まれていない</small>	△	○	◎
		<ul style="list-style-type: none"> 30年間で約31.0億円の削減 施設運営コスト：約23.8億円削減 施設維持更新費用：約7.1億円削減 	<ul style="list-style-type: none"> 30年間で約33.3～34.0億円の削減 施設運営コスト：約25.0億円削減 施設維持更新費用：約8.3～9.0億円削減 	<ul style="list-style-type: none"> 30年間で約35.5億円の削減 施設運営コスト：約25.8億円削減 施設維持更新費用：約9.7億円削減
④ 既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 多用途に利用できる施設になっているか 施設面積は削減されるか 施設の効率的な活用につながっているか アクセスしやすい施設配置となっているか 歩いて行ける場所に集まれる施設はあるか 十分な駐車場は確保されているか 使いやすい駐車場は整備されているか 	△	○	◎
		<ul style="list-style-type: none"> 農改センターを整備することで、コミュニティ・運動・調理以外にも学習・居場所などの利用も可能 		
		<ul style="list-style-type: none"> 老人憩の家の廃止により、総施設面積が削減 	<ul style="list-style-type: none"> 老人憩の家の廃止や農改センター（多目的ホールを除く）の縮小により、総施設面積が削減 	<ul style="list-style-type: none"> 老人憩の家の廃止や農改センター（多目的ホールを含む）の縮小により、総施設面積が削減
		<ul style="list-style-type: none"> 農改センターはあまり使われていない部屋があるが、規模が維持されるため、施設利用の効率化の課題が残る 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターを、多目的ホールを除いて利用状況に応じた規模で整備するため、施設利用は一定の効率化が図れる 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターを利用状況に応じた規模で新たに整備するため、施設利用の効率化が最も図れる
		<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの駐車場の整備には樹木伐採などの必要があり、課題が残る 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの減築に伴い、利便性の高い駐車場の整備が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> 農改センターの建て替えに伴い、外構部分が最も広くなり、駐車場の整備や駐車場の確保が期待できる
<ul style="list-style-type: none"> 大江山地域の中心に、地域の拠点となる農改センターに向かう公共交通が整備されている【共通】 老人憩の家の廃止に伴い、歩いて行ける施設が減少するが、自治会集会所や空き家等の活用で集まれる場所の確保の検討は可能【共通】 				
⑤ 災害に強く安全な地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 安心して生活するため、災害時に避難できる施設はあるか 地域に備蓄倉庫は整えてあるか 	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 丸山・大淵小学校と大江山中学校が避難所として確保されている【共通】 避難所指定されている各学校には避難所運営ボックスが設置されており、農改センターには備蓄倉庫が設置されている【共通】 				